

# やまびこ

学校だより NO.6  
令和5年6月30日  
岡山市立清輝小学校

いただきます。  
ごちそうさま。

はれわたる 空の青

はれわたる 空の青をくぐりながら

心がくぐると はれわたる 空の青

めくくぐりくぐりくぐりくぐり

はくくぐりくぐりくぐりくぐり

だれかがみだしておいだら

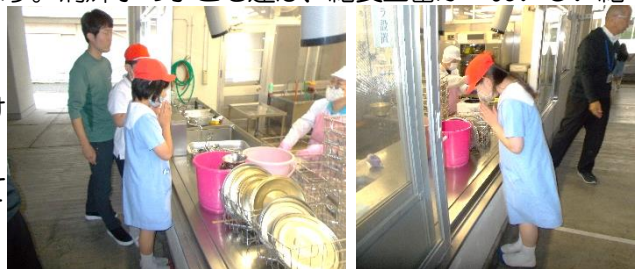
だまっくぐりくぐりくぐりくぐり

世界中の人の心もくぐりくぐりくぐり

6月の全校朝礼で、靴箱の整頓について話をしました。1年生の靴箱が、全員の靴のかかどがきれいにそろっていたので、担任の先生にたずねたところ、自分で気をつけている人も多し、友達の靴がそろっていないことに気づいた人が直してくれているとのことでした。まさに上の詩の通りのことができているので、全校に紹介しました。「世界中の人の心がそろう」ということに関連付けて、昨年同時期に話した岡山上空襲のことを振り返り、みんながやさしい気持ちになって世界が平和になってほしいという思いを伝えました。



また、「食育」の一環として「給食の残量調査」がありました。その一週間だけがんばって残さないということではなく、「残った給食はごみとして捨てられ」「世界には食べ物を口にすることができず、なくなっていく子どもがたくさんいる」「みんなが毎日給食を食べることができるのは様々な人のおかげである」等の指導をしています。実は、給食を食べられるということは「当たり前」ではなく、「有り難い」ことであるということ、発達段階に応じて理解してほしいと思います。食事を調理してくれる人、食費に充てるお金を得るための家族の努力、調理のためのエネルギーや水などのライフラインを支える人や食材を生産したり運んだりする人の存在、私たちの命を支えるために口に入る動植物の命をはじめ、様々なものを育む自然……。そうしたいろいろなおかげに対して「いただきます」「ごちそうさま」という言葉があります。清輝小の子ども達は、給食当番が「おいしい給食、いただきます。」「おいしい給食、ごちそうさまでした。」と、元気な声であいさつをしてくれます。学校だけでなく、おうちで食事をとるときも心を込めてあいさつできる人であってほしいです。



## 梅雨の晴れ間

水泳の授業が始まりました。

気温は高くなっていますが、梅雨らしく雨の多い6月です。そんな中、清輝小学校もプール開きをしました。その日は、絶好のプール日和で、元気に水しぶきを上げていました。プールに入る回数には限られていますが、ルールを守って、楽しく安全に、水と仲良くしてほしいと思います。



## 元気に運動だんご

今年も、体育委員会の人々が上手にリードし、楽しく体づくりに取り組んでいます。

